



氏名 中村 良平 (なかむら りょうへい) 1953年生
 所属 経済学部・教授
 T e l 086-251-7544 (ダイヤルイン)
 F a x 086-251-7571
 E-mail ubbz0252@cc.okayama-u.ac.jp
 HP <http://www.e.okayama-u.ac.jp/~ryonk/index.htm>

**ひとこと：都市と地域の経済学をテーマに、金融工学の観点から都市の最適規模、製造業の経済効果、不動産市場等に関する研究を行っています。
 最近、市町村合併、新産業創出、NPO等に関する研究も行い、行政や街づくり組織の委員会などにも積極的に参画しています。**

1. 不動産市場の効率性の研究

金融工学的手法を用いて、その理論的発展や、土地や住宅など不動産市場へ適用として市場効率性の分析を行っています。土地利用規制が地価に与える影響について、収益性と環境改善の効果を分離した推定方法を、理論・実証面から研究しています。

2. 最適都市規模に関する研究

最適都市規模の問題に関して、市町村合併の費用便益分析も観点に置き、理論モデルの開発と実証分析を行っています。

3. 公共事業の評価システム

公共事業の評価システムの構築と実証を行っており、津山市を事例に事業評価法の作成とソフト化に取り組んでいます。(右図)

4. 地域間格差に関する研究

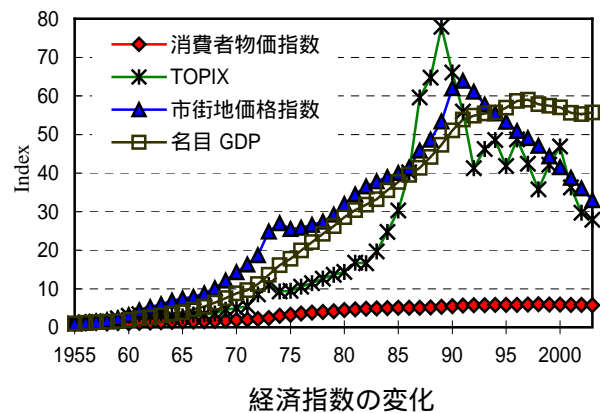
雇用や所得など地域格差の要因と内生的地域成長モデルの有機的な結合を計り、拡大と縮小要因を統一的に分析できる実証分析に取り組んでいます。

5. 新産業創出と地域経済

日本再生の鍵は地域経済の活性化にあり、その地域経済の活性化にとって欠かせない新産業創出についての提言を行っています。

6. 街づくりに関する研究

自治体の街づくりに関する研究を行っており、各自治体からの要請を受け、各種委員会への参画、視察、調査、提言等を行っています。(右図)



津山市事業評価システム
Version 8.0



街づくりのための視察 (高知市)

キーワード：不動産、金融工学、地域成長、都市経済、政策評価、地域格差、新産業創出、

キーワード用語集（中村良平先生）

- 不動産・・・・・・・・土地や住宅など、動かすことのできない固定資産のことをさす。不動産学は欧米では伝統的な学問であるが、我が国ではまだまだ数が少ない。
- 金融工学・・・・・・・・数理的手法を積極的に活用して、金融システムを分析する分野。金融デリバティブやポートフォリオ分析に威力を発揮する。この分野でのノーベル経済学賞が授与された例もある。
- 地域成長・・・・・・・・人口や雇用、所得の伸びを意味する。地域経済は国民経済よりも開放性が高いので、生産額よりも人口で測ることが多い。
- 都市経済・・・・・・・・都市域を対象とする経済。
- 政策評価・・・・・・・・主に行政が実施した事業に関して、その政策体系にさかのぼって評価する。事前評価としてのアセスメント、事業実施中の評価、事後評価の三段階に分かれる。
- 地域格差・・・・・・・・多くは地域間の平均所得の格差をいう。市場経済では是正すべき格差と放っておいたら消滅する格差がある。
- 新産業創出・・・・・・・・既存の産業分野にとらわれない時代の要請や需要によって生まれる産業。供給側からの新発見や発明によって長い懐妊期間を経過して産業として巣立つのもある。